

地盤情報電子データ標準化小委員会

報 告 書

平成 29 年 6 月 30 日

一般社団法人全国地質調査業協会連合会

1	活動概要	1
1-1	小委員会の名称	1
1-2	活動テーマ	1
1-3	活動期間	1
1-4	活動目的	1
1-5	達成目標	1
2	活動実施方針	1
2-1	活動体制	1
2-2	活動実施フロー	2
2-3	活動内容	2
2-3-1	『ボーリング柱状図作成及びボーリング取扱い・保管要領(案)・同解説 平成 27 年 6 月』に対応した原案作成	2
2-3-2	物理探査成果品の電子データ化の検討	2
2-3-3	成果とりまとめ	3
3	活動工程	3
4	小委員会構成	4
5	小委員会の成果品ならびに部数	4

1 活動概要

1-1 小委員会の名称

地盤情報電子データ標準化小委員会

1-2 活動テーマ

信頼性・精度の高い地質・地盤情報の流通と利用促進のための電子データ標準の検討

1-3 活動期間

平成 27 年 8 月 1 日 ～ 平成 29 年 6 月 30 日

1-4 活動目的

H25年度から2年間活動した、社会基盤情報標準化委員会ボーリング柱状図標準化小委員会が取りまとめた『ボーリング柱状図作成及びボーリング取扱い・保管要領(案)・同解説』に対応した地質・地盤情報電子データの標準化の検討などを行い、もって、円滑な地質・地盤情報データの流通基盤の構築と統合的な利用環境の創出を実現することを活動目的とした。

1-5 達成目標

地質・土質調査成果電子納品要領(案)の改定原案の作成を目標とした。なお、1年目と2年目それぞれの達成目標は以下のとおり。

- 1年目：『ボーリング柱状図作成及びボーリング取扱い・保管要領(案)・同解説 平成 27 年 6 月』に対応した原案作成
- 2年目：物理探査成果品の電子データ化の検討

2 活動実施方針

2-1 活動体制

地盤情報電子データ標準化小委員会は、小委員会、原案作成ワーキング(以下、原案作成 WG と略記する)、事務局から構成した。

それぞれの役割は以下のとおり。

なお、構成メンバーについては4. 小委員会構成を参照のこと。

- **小委員会**：原案作成 WG 作成の地質・土質調査成果電子納品要領(案)改訂原案を基に協議、承認を実施。
- **原案作成 WG**：地質・土質調査成果電子納品要領(案)改訂原案を作成。
- **事務局**：小委員会ならびに、原案作成 WG の運営・管理等を実施。

2-2 活動実施フロー

小委員会における活動実施フローを図 2-1 に示す。

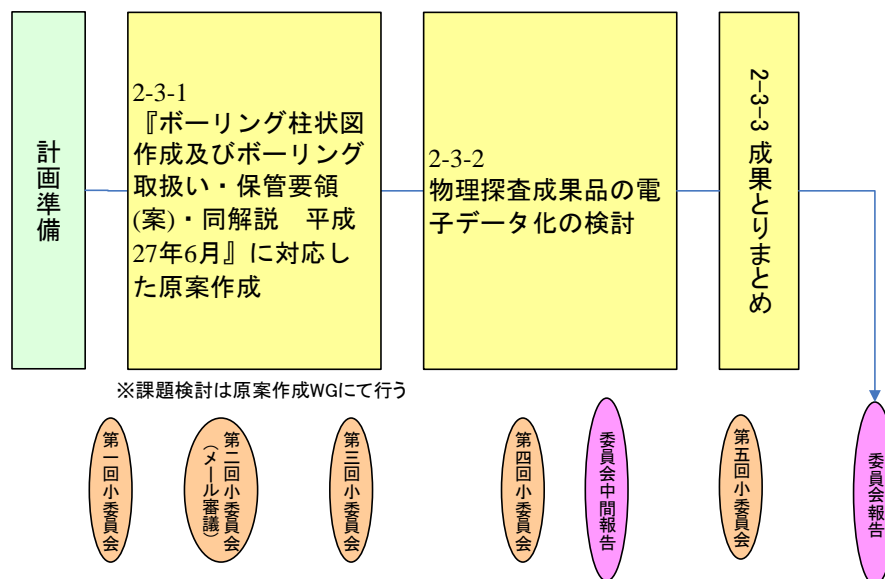


図 2-1 活動実施フロー

2-3 活動内容

次の 2 項目を主体とした検討を行った。また、小委員会にて新たな課題が提示された場合は、それも含めて検討を行い、地質・土質調査成果電子納品要領改定原案として取りまとめた。なお、改定検討にあたっては、既に公開・利活用されている地質・地盤情報データベースへの影響を最小限にとどめるよう留意した。

2-3-1 『ボーリング柱状図作成及びボーリング取扱い・保管要領(案)・同解説 平成 27 年 6 月』に対応した原案作成

従来の地質・土質調査成果電子納品要領(案)H20.12版は、ボーリング柱状図作成、様式に関し以下①～③の要領(案)類を引用しているため、『ボーリング柱状図作成及びボーリングコア取扱い・保管要領(案)・同解説』に即した柱状図電子データ流通のための改定原案を作成した。

- ① ボーリング柱状図作成要領(案) 昭和61年8月 建設省大臣官房技術調査室,建設省土木研究所
- ② ボーリング柱状図作成要領(案)解説書(改訂版) 平成11年5月 建設大臣官房技術調査室監修
- ③ 地すべり調査用ボーリング柱状図作成要領(案) 平成14年6月 (独)土木研究所

2-3-2 物理探査成果品の電子データ化の検討

地質・土質調査成果電子納品要領(案)H20.12版では規定されていない物理探査成果品の電子データ化を検討し、物理探査成果電子納品要領原案として取りまとめた。

2-3-3 成果とりまとめ

上記2-3-1～2-3-2の成果を地質・土質調査成果電子納品要領改定原案および物理探査成果電子納品要領原案としてとりまとめた。

3 活動工程

小委員会の全体工程を表3-1に示す。

表 3-1 地盤情報電子データ標準化小委員会 全体工程

	H27					H28												H29													
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6								
2-3-1『ボーリング柱状図作成及びボーリング取扱い・保管要領(案)・同解説 平成27年6月』に対応した原案作成	■																														
2-3-2 物理探査成果品の電子データ化の検討										■																					
2-3-3 成果とりまとめ																				■											
委員会開催(☆) および親委員会報告(★)					☆ 22 ★ 9					☆ 9		☆ 20					☆ 16 ★ 20			☆ 29			★ 30								
事務局会議・原案作成WG開催	● 7	● 10 18	● 6 15	● 5 20	● 16 22	● 7	● 9 26	● 24	● 12 22 25	● 27	● 29		● 19	● 5 8		● 24		● 27		● 15 22	● 18		● 14								

4 小委員会構成

小委員会の構成を表 4-1 に示す。

表 4-1 小委員会の構成

No.		氏名	所属		※
1	委員長	福江 正治	東海大学	名誉教授	
2	委員 (途中交代)	石橋 隆史	国土交通省大臣官房	技術調査課 技術開発官	
3	委員 (途中交代)	伏木 章尋	国土交通省大臣官房	技術調査課 課長補佐	
4	委員	青山 憲明	国土交通省国土技術政策総合研究所	防災・メンテナンス基盤研究センター主任研究官	
5	委員	佐々木 靖人	国立研究開発法人土木研究所	地質研究監	○
6	委員	佐々木 哲也	国立研究開発法人土木研究所	地質・地盤研究グループ 上席研究員(土質・振動)	○
7	委員	石井 靖雄	国立研究開発法人土木研究所	土砂管理研究グループ 上席研究員(火山・土石流)	○
8	委員	阿南 修司	国立研究開発法人土木研究所	地質・地盤研究グループ 上席研究員(地質)	○
9	委員	田中 政典	国立研究開発法人港湾空港技術研究所	地盤研究領域土質 研究チーム 専門研究員	
10	委員	脇坂 安彦	一般財団法人ダム技術センター	ダム技術研究所 研究第2部長	○
11	委員	松尾 達也	一般社団法人日本応用地質学会	土木地質研究部会	
12	委員	利藤 房男	公益社団法人地盤工学会	基準部地盤調査規格・ 基準委員会 委員長	
13	委員	三木 茂	公益社団法人物理探査学会	理事	
14	委員	清水 公二	一般社団法人建設コンサルタンツ協会	土質・地質専門委員会	
	旧委員	永田 耕之	国土交通省大臣官房	技術調査課 課長補佐	
	旧委員	宮川 康平	国土交通省大臣官房	技術調査課 課長補佐	
	事務局	土屋 彰義	一般社団法人全国地質調査業協会連合会		○
	〃	原 弘	〃		○
	〃	照屋 純	〃		○
	〃	坂森 計則	〃		○
	〃	和田 里絵	〃		○
	〃	池田 俊雄	〃		○

※ 原案作成 WG 構成メンバー

5 小委員会の成果品ならびに部数

小委員会の成果品ならびに部数は、次のとおりである。なお、報告書には、地質・土質調査成果電子納品要領改定原案および物理探査成果電子納品要領原案を含む。

- 電子記録媒体(報告書 CD-R) : 1部
- 報告書(紙 A4 パイプファイル) : 1部

—以上